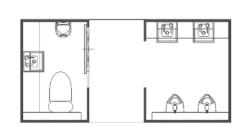


Plan

遊具に近く、緩やかな斜路に沿って配した BOX トイレは、勾配の低い方から多目的トイレ、男子トイレ、女子トイレの順に並べ、遠くからでも分かりやすいゾーニングや視認性を高めたスロープ、ブースの色などにより、多様な利用者のスムーズな動線を結んでいく。

それらのBOXトイレを包み込むよう伸びやかにルーフを架け、柱の間に見守り用のベンチやテーブル席のある休憩スペースを設けた。建物自体のボリュームを分散しつつ、ルーフをなだらかな丘陵に合わせてずらし重ねることで、自然のリズムをもって景観になじませ、優しいプロポーションとなるようバランスをとっている。







ほどよくプライバシーを保ちながら、開放的で死角のないつくりとし、ルーフの支柱でゆるやかに視線を遮り、建物を斜路に沿って並べたことで、利用者と周囲の人との視線のずれや距離感を生み出した。ベンチ席からはトイレ内のブース入り口も確認しやすく安心。日陰で涼しく「ほっと一息」、安らうオアシスとなる。



トイレ上部にはトップライトを設け、適度な自然光を取り込み、壁には臭気対策として換気口を設けることで通風を確保。分散配置にすることにより明るく風通しの良い清潔なトイレとした。

ユニーバーサルデザインを意識し、各ブースには専用の手洗い及び物置カウンターを設置。子連れや荷物が多い人でもゆったりと使え、外国人でもわかりやすいサインの設置や視力の弱い方でも器具の位置が認識しやすいように衛生器具と周辺部分に色彩コントラストを設けた。

BOXトイレやルーフは、薄く軽やかさを表現できる県産「超薄肉プレキャストコンクリート」を採用。RC 造に比べ軽量かつ密実堅牢なコンクリートとして耐久性が高く、また、メンテナンスフリーでライフサイクルコスト低減に貢献できる。3つのBOX型トイレは、厚み4cmのパネルを床・壁・天井に用い、現地で組み立てる工事となる。工場で制作することから、公園内での工事を短期間に抑えることができる。ルーフも含め、ほぼ全てのパネルサイズは、2.3m×3m内で制作することで運搬回数を縮減。軽量化したことで、大きな根切工事や基礎工事が不要となり、土間コンクリートに直接固定するため、工期や工事コストを縮減できる。



Data

床面積:トイレ 30 ㎡ / ルーフ 48 ㎡ 構造:超薄肉プレストレストコンクリート + 鉄骨造 基礎:なし

仕上げ

トイレ

天井: 超薄肉プレストレストコンクリート+塗装 壁: 超薄肉プレストレストコンクリート+塗装 床: 超薄肉プレストレストコンクリート+カラークリア トップライト: 複層ポリカーボネイト (半透明)

柱:鉄骨 φ 114.3 溶融亜鉛メッキ仕上げの上対候性塗装 屋根:超薄肉プレストレストコンクリート+塗装

土間コンクリート金ゴテ仕上げ

